

Challenge for Energy! みんなの未来へ

第12回

エネルギー 教育賞

2017年度



主催：一般社団法人 日本電気協会(電気新聞)
後援：経済産業省／文部科学省／環境省／日本エネルギー環境教育学会
独立行政法人 国立高等専門学校機構／一般財団法人 省エネルギーセンター
電気事業連合会／一般財団法人 電力中央研究所
一般社団法人 新・エネルギー環境教育情報センター(申請中・予定含む)

特別協力：日本教育新聞社

応募締め切り

2017年
10/31(火)
必着!

第12回 電気新聞

「エネルギー教育賞」 応募要項

募集期間

2017年7月1日(土)～10月31日(火)まで

趣旨

一般社団法人 日本電気協会(電気新聞)では、エネルギー教育の実践に取り組む学校現場を応援する顕彰制度として、2006(平成18)年度より「エネルギー教育賞」を実施しております。本年度の第12回は、下記の要領で募集いたします。

たくさんのご応募をお待ちしております。

表彰の内容(予定)

1 エネルギー教育賞【最優秀賞】(計3件)

小学校の部1件、中学校の部1件、高校・高専の部1件——
受賞校にはそれぞれ表彰状と、副賞の賞金「50万円」を贈ります。

2 エネルギー教育賞【優秀賞】(計20件程度)

小学校の部10件程度、中学校と高校・高専の部合わせて10件程度——
受賞校にはそれぞれ表彰状と、副賞の賞金「10万円」を贈ります。

3 奨励賞

入賞者以外の応募者に活動事例集および記念品を贈ります。

※入賞校のエネルギー教育活動を支援した自治体・事業者・団体等については別途表彰する場合があります。



選考委員(予定)

「エネルギー教育賞」の選考委員につきましては、
以下の方々をお願いいたしました。

- 有馬 朗人 氏 (武蔵学園長、元文部大臣)＝選考委員長
- 小田 公彦 氏 (山形大学教授)
- 木村 孟 氏 (大学改革支援・学位授与機構 顧問・名誉教授)
- 熊野 善介 氏 (日本エネルギー環境教育学会会長、静岡大学教授)
- 湊澤 文隆 氏 (帝京大学教職大学院教授)
- 東嶋 和子 氏 (科学ジャーナリスト)



選考委員長 有馬朗人氏

表彰の対象

エネルギー教育賞【最優秀賞・優秀賞】

「エネルギー教育」活動を前年度（2016年度）に行い、本年度も継続している小学校、中学校、高等学校および高等専門学校

取り組み内容としては

- 1 全体指導計画に基づく、全校挙げて「エネルギー教育」「環境教育」の中で、エネルギーにかかわる問題を取り上げている事例
- 2 1以外にも、●教科や総合的な学習 ●学年 ●学科（高校・高専）●課外活動などで、特色あるエネルギーに関わる学習や取り組み事例

——を選考対象とします。

※最終面に、昨年度最優秀賞受賞校の活動事例を紹介



昨年度のエネルギー教育賞表彰式での受賞校。

応募の方法

所定の書式（電気新聞ホームページよりダウンロードできます）に、下記の項目をご記入の上、事務局にメール、もしくは郵送してください。書式や、図表・写真使用は自由ですが、A4判6ページ以内に収めてください。

※応募書類等は原則返却いたしません。なお、応募内容を事例集や電気新聞の記事で活用させていただく場合があります。また、冊子、DVDやCD等の参考資料を添付いただいても、審査の都合上、目を通すことはできません。ご了承下さい。

【応募書類の記入項目】

- 1 貴校のアピールポイント（箇条書き5項目以内）
- 2 エネルギー教育の狙いや教育課程上の位置づけ、活動期間
- 3 具体的な学習・活動内容と授業時間等
- 4 学習、活動を通じての子供たちの反応、変化
- 5 これからの学習・活動計画や方向性
- 6 地域や事業者等との連携状況

選考方法および発表方法（予定）

全応募書類より、下記の観点から選考を行います。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1 学習の目的や内容、教育課程上の位置づけ | 4 活動の継続性 |
| 2 創意工夫のあり方 | 5 活動の正確性 |
| 3 子どもたちの変化の度合い | 6 地域等との連携性 |

受賞校は2018年2月に電気新聞およびホームページで発表します。表彰式は3月に最優秀校等を招いて、東京都内で行う予定です。

応募・問い合わせ先

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館3階

電気新聞 総務局内「エネルギー教育賞」係 宛

TEL：03-3211-1558 FAX：03-3201-4738 E-mail：kyouiku@denki.or.jp

電気新聞ホームページ：http://www.denkishimbun.com

エネルギー教育賞

検索

昨年度最優秀賞各校の活動内容について



最優秀賞

【小学校の部】

佐伯市立明治小学校

持続的な社会の実現を主題に、各教科で学んだことをもとに総合的な学習の時間でエネルギー教育を実践しています。

また、九州電力や大学などと連携した授業や見学会のほか、農業、漁業、林業など地域の産業の特性を題材にした取り組みを行っています。

最優秀賞

【中学校の部】

札幌市立白石中学校

理科を軸とした横断的な教科学習をカリキュラムの基本に据え、各科の教員が連携したエネルギー教育を行っています。

それを踏まえ、原子力発電所や風力発電所の見学を行い、生徒がエネルギーを自主的に考える姿勢が高まりました。



最優秀賞

【高校・高専の部】

兵庫県立洲本実業高等学校

ものづくりを担う技術者育成の観点からエネルギー教育に取り組んでいますが、大学や関西電力など企業との連携も盛んです。

また、東日本大震災の被災地向けに街路灯設置のボランティア活動を実施するなど、社会とのつながりも強く意識した活動も行っています。

